

講座の申込みについて

受講ご希望の方は、**事前の申込み(先着順)**が必要です。以下の内容をメール又は電話やFAXにて、申込締切日までに総合企画室へ申込みください。なお、申込締切日前でも定員になり次第、締切とさせていただきますので、ご了承ください。

- ・ 講座番号
- ・ 講座名
- ・ 受講者名
- ・ 受講者名(ふりがな)
- ・ 年齢(講座番号9,10,11を受講される方)
- ・ 住所
- ・ 電話番号(自宅)
- ・ 携帯番号

○ 電話による受付時間は、平日9:00～15:00です。

○ メール又はFAXでの申込みにつきまして、送信後1週間以内に本学から連絡がない場合は、受信されていない場合があります。その際は、総合企画室(095-820-6020)までお電話ください。また、事前にplansec@kwassui.ac.jpからのメールを受信できるような設定をお願いします。

○ FAX送信の場合、以下のフォームをご利用いただき、送信ください。

FAX送信票(095-826-3753)	送信日	年	月	日
講座番号				
講座名				
受講者名				
受講者名(ふりがな)				
年齢(講座番号9,10,11を受講される方)				
住所	〒			
電話番号(自宅)				
携帯番号				

○その他ご連絡

- ・ 不測の事態が生じた場合は、ホームページのトピック等にてお知らせいたしますので、事前にご確認いただきますようお願いいたします。
- ・ 本学公開講座において、新聞・テレビ等の取材や撮影が入る場合があります。また、講座の様子を職員が撮影し、広報活動等に活用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- ・ 東山手キャンパスには駐車場のスペースがございませんので、公共交通機関をご利用のうえお越しください(アクセスについてはホームページをご覧ください)。ただし、講座番号9,10,11の子どもの参加者に同伴する保護者の方は、大学駐車場を利用することが可能です。講座申込時にお申し出ください。(先着順)
- ・ 大村キャンパスは駐車場が利用できます。申込みの際に「駐車場利用希望」とお伝えください。
- ・ 体調不調の場合は、参加をお控えいただきますようお願いいたします。
- ・ 諸事情によりキャンセルが生じた場合は、前日までに総合企画室にご連絡ください。
- ・ 近年、短時間で急激な天候の変化がございます。その際は、参加者様ご自身の判断で連絡なしに欠席していただいてもかまいません。
- ・ 公開講座の詳細については、QRコードからもご確認いただけます。

申込み・問い合わせ先

活水学院 総合企画室
〒850-8515 長崎市東山手町 1-50 (東山手キャンパス)
電話 095-820-6020 (平日 9:00～15:00)
FAX 095-826-3753
Mail plansec@kwassui.ac.jp



講座概要

講座番号1 海外で日本語を教えるという仕事 ～トルコで見た日本語の魅力～

日本語は日本の中だけで使われる言語ではなく、世界各地で学ばれています。本講座では、トルコにおける日本語教育の現場を紹介しながら、外国人が日本語をどのように学び、どこに難しさや面白さを感じているのかを考えます。日本語とトルコ語の違いや共通点にも触れ、日本語を「外国語として見る」ことで見えてくる日本語の特徴や魅力について紹介します。海外の教室から見た日本語の姿を通して、言葉と文化のつながりについて考えてみたいと思います。

講座番号2 教科書の名作を読み直す④ ～人は虎になるのか?～

中島敦「山月記」を読みます。そう、あの虎になっしょうお話です。きっとみなさん、高等学校2年生の時に国語の授業で読んだのではないのでしょうか?『臆病な自尊心と、尊大な羞恥心。』という有名なフレーズを覚えている方もいらっしゃるかもしれませんが。この一見、形容矛盾の表現になぜ人は共感してしまうのでしょうか。それは誰もが持つ、この自尊心や羞恥心を誰もが扱いかねているからに違いありません。人間というのは自分自身の扱いさえ難しい存在なんです。そんなことをこの名作を読みながら考えてみたいと思います。

講座番号3 ヴィヴァルディ「海の嵐」を聴く

1950年代にレコード発売されたイ・ムジチ合奏団「四季」は戦後の日本人の心に明るく響き、大ヒットしたそうです。ヴィヴァルディは各管楽器のための協奏曲を多数作曲しており「器楽の国」イタリアの面目躍如たる功績を残しています。その中から、今回フルート独奏の名曲「海の嵐」を講師、草場のバロックフルート演奏で、福岡の古楽教室ハルモニー・セレスト(岩田耕作氏主宰)の皆さまの共演を得てお届けします。従来の講座に生演奏を合わせた形で、バロック時代のイタリアの音楽についても触れていきます。

講座番号4 はじめての水彩画(静物)

水彩画を描いてみたいけれど「何からはじめればいいのか?…」本講座は、そんな初心者の方のための入門講座です。道具の使い方から順に、透明水彩絵具で「重ね塗り」や「ぼかし」などの基礎的な技法、身近な果物などの静物をモチーフに描きます。AIの時代だからこそ、水彩画という体験を通して、あなただけの日常の小さな発見やときめきを一枚の作品としてカタチにしていきませんか?色彩と水が織りなす美しさを一緒に楽しみましょう。水彩絵具、画用紙、鉛筆、パレットなどの画材や道具はこちらで準備します。

講座番号5 ファミリービジネスのマネジメント

地域の老舗や家族経営企業(ファミリービジネス)に注目し、長く続く仕組みを学びます。長期的視点や信頼関係といった強みを整理しつつ、ガバナンスや後継者問題、利害調整の難しさも事例と最新研究をもとに考察します。身近な企業から「続く経営」のヒントを探ります。

講座番号6 ミュージカルで学ぶ英語と文化「ミス・サイゴン」

ミュージカル「ミス・サイゴン」を通じて英語の生きたフレーズや文化的背景を読み解く講座です。代表的な楽曲の歌詞の読解や発音練習といった語学的なアプローチに加え、ベトナム戦争当時の社会情勢や、紛争下に生きる市民の切実な思いなど、物語の核心にある歴史的テーマを探ります。音楽の力で英語への心理的ハードルを下げつつ、教養としての背景知識も身につく内容です。一緒に感動を分かち合いながら学びましょう。

さらば、活水音楽学部 第3回 2010年～2018年

音楽学部33年の歩みを振り返る4回シリーズ。学科再編となった2010年度以降の音楽学部の活動内容、教育内容を振り返ります。音楽療法コースが廃され、ポピュラー音楽コースが立ち上がりました。某芸術大学は「秘境」と謳われたこともあったようですが、大学の芸術系学部の在り方は、社会情勢から影響を受けざるを得ません。その中で活水の音楽学部がどのように時代とともにあったのか。どうぞ期待。

講座番号8 ミュージカル映画で学ぶ英語と文化「ブルース・ブラザーズ」(1981)

ミュージカル映画「ブルース・ブラザーズ」(1981)から英語の歌詞を紐解きながら、当時の社会情勢や文化背景に迫ります。これは、アレサ・フランクリンの「Respect」から70年代の女性の尊厳を求める声や、カンタリー一の定番「ロー・ハイド」が物語るアメリカ社会など、時代の社会的文脈が投影されている作品です。愛すべき刑務所帰りの白人二人が黒人音楽(ブルース、ソウル、R&B)を尊敬の念を持って演奏し、コミカルにあちこちで騒動を起こしながらソウル音楽の伝道をするさまを通じて、70年代後半のシカゴの文化的背景と人種をまたぐ音楽の受容を掘り下げたいと思います。

夏休みの自由研究におすすめ!

講座番号9 建築・インテリア模型を作って考える室内空間の使い方

簡易な模型を作って室内空間の使い方を考えます。室内を上手く使えない等、小さなお困り事はありませんか?兄弟・姉妹で部屋を分けたい、自分だけの場所が欲しい…簡易な模様替えで解決したい。その空想を、建築・インテリア模型を使って、現実グッと近づけてみませんか?親子で参加し夏休みの自由研究として、又は、自宅の部屋や家具のサイズを測って参加もOKです!解決のヒントになれば幸いです。

講座番号10 親子で楽しむ!わくわくクッキング ～お鍋でお米を炊いてみよう～

小学生を対象とした講座です(保護者同伴)。主食であるお米を炊飯器ではなくお鍋で炊いてみましょう。お米の研ぎ方や水加減、火の調節具合などを知り、食に対する関心を深めてみませんか。普段食べているごはんとは一味違ったおいしさを味わえるかも!?数種類のお米の食べ比べや非常時に役立つ炊飯なども行います。夏休みの自由研究の一つとして、一緒にお米を炊いてみませんか?皆様のご参加をお待ちしております。

すくすくこそだてひろば

講座番号11 おばけやしきをつくろう!

さまざまな素材を使って「造形遊び」をおこないます。子ども自身の「やってみたい!」「おもしろい!」を大事にしながら、大学の教員が遊びをサポートしていきます。子どもたちが遊んでいる間、保護者の方は同時開催の講座番号12「親子関係の大切さ」についてのお話を聞くことができます。

講座番号12 親子関係の大切さ

講座番号11「おばけやしきをつくろう!」と同時開講で、お子様連れの保護者、および地域の方々を対象に親子関係の重要性に関する講座を開講いたします。受講時、お子様は講座番号11「おばけやしきをつくろう!」にご参加いただけます。

活水ウェルビーイングセンター 開設特別講座

講座番号13 利他と自分らしさのあいだ ～自分と他者を慈しむウェルビーイング～

「誰かのため」と頑張ることは尊い一方で、行きすぎると自分を見失ってしまうこともあります。本講座では、経営や社会貢献の現場経験に加え、カミュ、エンデ、幸田露伴などの文学作品に描かれた人間の心を手がかりに、利他と自分らしさのバランスについて考えます。講義と対話を通して、自分と他者の両方を大切に生き方を、ゆっくりと見つめ直してみませんか。

講座番号14 自分の強み(ストレングス)を知っていきいきライフ!

みなさんは、ご自分の強みをどのように認識していますか?本講座では、強み(ストレングス)とはどういうことか、どのような時に生かせるのか、などストレスとの付き合い方を学習します。またグループワークを通して自分では気が付かなかった強みを見出すことができます。本講座が終わったときには、心が豊かになる時間が待っています。是非ご参加ください。

講座番号15 時短! 簡単! 美味しく食べよう シニア世代の1日料理教室

調理に時間がかけれられない、手の込んだ料理は苦手、食材も買えば余る、栄養のことも気になる・・・そんなシニア世代の毎日の食事作りにヒント!市販品の活用、冷凍保存、包丁要らずでレンジでチン!そんな料理教室です。料理が苦手な方、男性も大歓迎です。

大村キャンパス

講座番号16 その人らしく生き抜くために ～『人生会議(ACP)』はじめませんか～

人生100年時代、最期まで自分らしく生きるためには、元気なうちから自分の大切にしている価値観や、受けたい医療・ケアについて考え、家族や周囲の人と話し合っておくことが大切です。これを「アドバンス・ケア・プランニング(ACP、愛称:人生会議)」と呼びます。本講座では、ACPの基本的な考え方を学び、自分自身の「これから」について考えます。

講座番号17 フットケアしませんか? ～足のチェック・フットケアを行い 健康的な足を保ちましょう～

足は日々の生活で負担がかかっています。足のチェックやお手入れをおこない健康的な足について考えてみませんか?これからの生活に取り入れられる足のチェックやフットケアを実演を交えてご紹介します。一緒にフットケアを行い、足をケアし、リフレッシュしてみませんか?